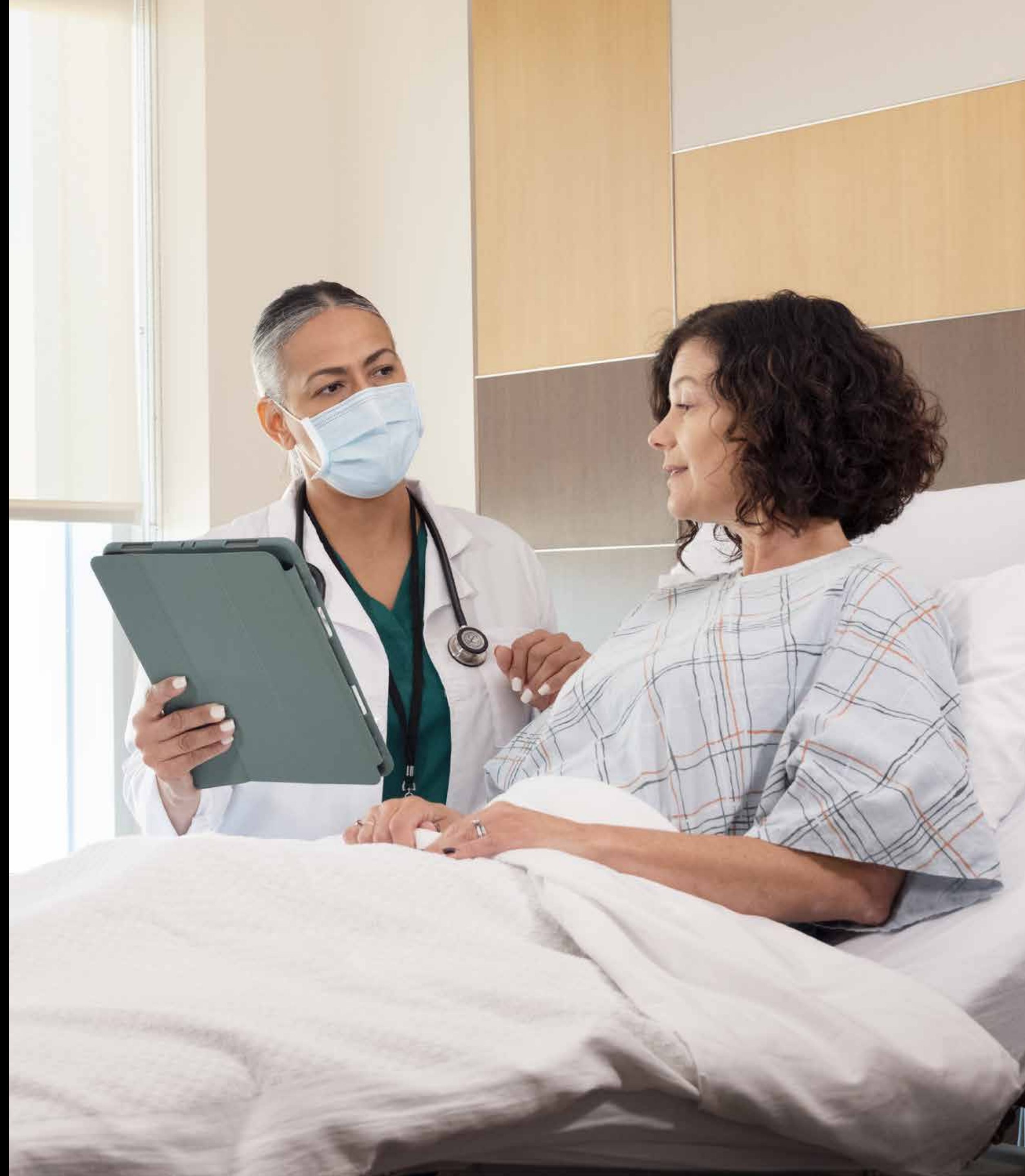


よりスマートで 患者中心の未来を 創り出すエンター プライズ・ インテリジエンス

日本のヘルスケア、医療、医薬品部門に
おけるベライゾンの展望

verizon^v



先進技術で 医療の質を向上させる

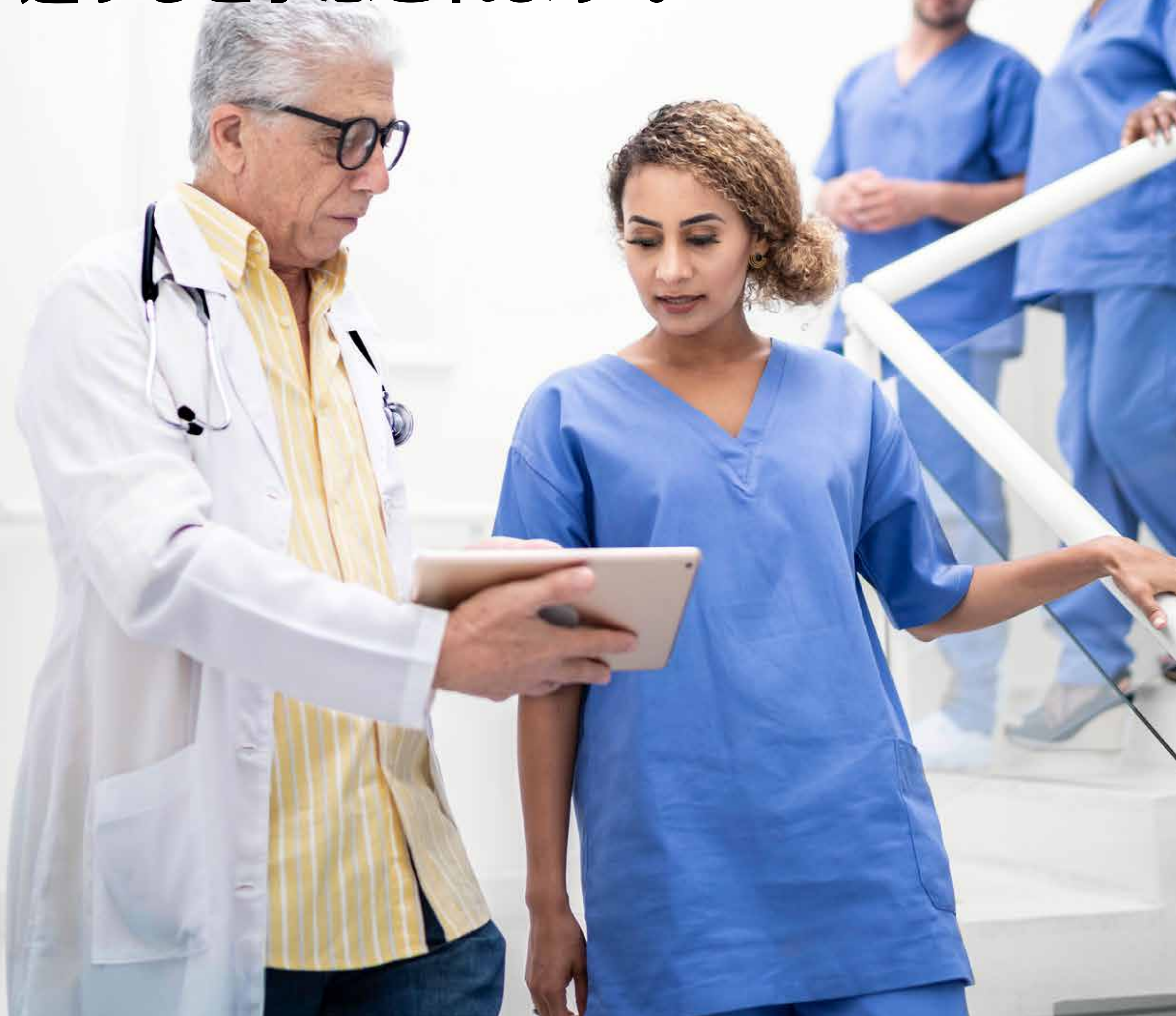
あらゆるタッチポイントで、
患者のニーズを満たしていく

患者は医療システムに対して、より多くのことを望んでいます。小売、エンターテインメント、ホスピタリティなどの消費者部門からヒントを得て、人々は自分のニーズを中心に据えたサービスを期待するようになってきました。医療提供者にとっては、ニーズを先取りして痛みに対処し、直感的でつながりのある体験を提供することが目標です。

これまで新技術の導入が遅れていた医療分野も、ようやく変化を加速させる必要性を認識するようになりました。デジタルソリューションは、バラバラになったシステム、プロセス、チームをひとつにまとめる上で重要な役割を果たすでしょう。そして、このようなエンタープライズインテリジェンスは、医療提供者の能力を高め、患者のケアを向上させるために大いに役立つと考えられます。



ASEANの医薬品製造部門は、2021年から2027年にかけて毎年12.8%成長し、獲得できる可能性のある全体の市場時価総額としては、1,483億ドルに達すると予想されます¹。



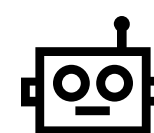
医療のデジタル化

セルフサービスやすぐにアクセスできるパーソナルな体験の需要は、患者のニーズに様々なデジタルタッチポイントが含まれるようになったことを意味します。ウェブ、モバイルアプリ、コンタクトセンター、人工知能 (AI) チャットボット、その他のオンラインツールなどがこれにあたります。これらのサービスをリアルタイムで稼働させ、24時間365日利用するためには、医療機関は高速で信頼性の高いネットワークを必要とします。



患者を中心とした体験

スマート病室の出現は、消費者が好むサービスを提供する方向へのシフトを示唆しています。患者は病室で、ストリーミングサービスやスピーカー付き枕はもちろん、室内エンターテインメントやAIアシスタントにもアクセスできるようになりました。また、これらのスマート病室では、患者が自分の医療記録にアクセスし、ケアチームとコミュニケーションを取ることが可能です。



サイバーセキュリティ

この分野では、医療分野のモノのインターネット (IoMT)、リモートワークプラットフォーム、接触者追跡アプリの台頭も見られます。これによって、より直感的で相互運用性の高い医療エコシステムが構築され、新しい形のケア提供や情報管理が可能になります。しかし、それは同時にサイバー攻撃のリスクが高まることを意味します。例えば、2019年にビクトリア州のヘルスセクターで発生したランサムウェア攻撃では、英国のNHSのコンピューターを含む30万台以上のコンピューターが感染し、手術の中止や救急車の迂回につながりました。IT部門のリーダー達は今、デジタル・トランスフォーメーションとサイバーセキュリティ・リスクが並行して加速している事態に取り組みなければなりません。

今日における課題

2022年には、オーストラリアの人々の80%が実際にクリニックに行つて受診することを好むと答えましたが、2019年にはわずか67%でした。

しかし、オンライン診療の利用も9倍に増加しています²。

これらの調査結果は一見矛盾していますが、パンデミック以降、医療への依存度がはるかに高まっていることを示しています。

データ

APACのヘルスケアリーダーの82%（世界全体では65%）は、組織にとってのデータの価値を認識しています³。

しかし、サイロ化によってデータの有効活用が思うように進んでいないと考えています。

サプライチェーン

オーストラリアでは人件費が高いため、現地での医薬品製造は減少し、特にアジアなどの安価な地域にオフショア化されています。

オーストラリアは現在、医薬品の製造量の4倍を輸入しており、サプライチェーンの混乱に脆弱な国となっています。

サイバーセキュリティ

ヘルスケア産業は常にハッカーの最重要ターゲットであり、漏洩する患者記録の量は2019年から2021年にかけて51%増加しました⁴。

また、多くの組織が脆弱な暗号化ソリューションを使用し、ウイルス対策ソフトウェアやファイアウォールを使用していないため、攻撃に対して脆弱な状態にあります。このため、この分野のサイバーセキュリティ戦略の多くは、データ中心のアプローチとなっています。

APACに係る知見

- 2022年から2031年にかけてAPACのヘルスケア・サイバーセキュリティ市場は毎年18.9%成長し、時価総額は821億7,000万米ドルになると予想されています。
- APACにおける活性物質認可（CEP）の80%以上を中国とインドが保有しています⁵。多くの化合物は、現在ではアジアの2~3社のサプライヤーからしか調達することができません。
- シンガポール国民の43%が、過去1年間に健康管理にデジタル技術を利用したことがありません。デジタル技術の導入が少ないのは、IT関連企業への信頼の欠如、経済的困窮、質の高いデジタルツールの欠如によるものです⁶。

業界水準との比較

APACのヘルスケアは、急速な変化を遂げようとしています。その背景には、人口動態の変化、デジタルイノベーション、消費者の期待の高まり、限られたレガシーインフラがあります。その結果、患者中心のデジタルヘルスエコシステムがかつてないスピードで確立されつつあります。

今後の展望

- アジアにおけるデジタルヘルスは、2020年の370億米ドルから、2025年には1,000億ドルに成長すると予想されています⁷。
- 2018年、アジアでは医療費全体の64%が国費で賄われており、患者ケアを損なうことなく支出を削減する方法を見つけることの優先度が高くなっています⁸。
- オーストラリア、中国、シンガポールの病院の4つのうち1つがデジタルヘルスソリューションを利用しており、その上位2つは遠隔診察（25%）とロボットによる手術（21%）です⁹。

IT部門への投資

75% の医療プロバイダーが顧客エンゲージメントアプリへの投資を増加させるでしょう¹⁰。

65% の病院がデジタル化、特にデジタルヘルスソリューションへの投資を増やしています¹¹。

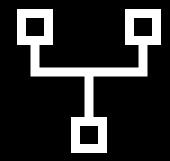
3–6% の売上がIT部門の予算に割り当てられ、ユーザー1人あたりの平均コストは約3,000から6,000米ドルです¹²。

ベライゾンが 御社のための ソリューションを 構築

医療従事者が質の高い患者ケアを提供するために必要な情報を提供するには、高速で信頼性の高いネットワーク接続が不可欠です。
ベライゾンは、データを迅速かつ安全に目的地に届けるためのソリューションを保有しています。

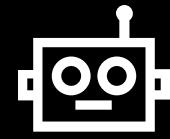


私たちの取り組み



ネットワークコネクティビティ

ベライゾンのsoftware-defined wide-area networking (SD-WAN)、モバイルエッジコンピューティング (MEC)、5Gなどの高度なネットワーク技術は、ネットワークトラフィックを最適化するエンタープライズインテリジェンスを組織に提供できます。ビジネス上で重要なデータの転送を優先させることで、臨床医や医療管理者が救命につながる可能性のある決定を下すために必要なデータを、ほぼリアルタイムで提供可能です。



AI主導のソリューション

AIは、医療サービスの需要や患者が未来に発症し得る合併症の潜在的なリスクまで予測できます。将来的には、AIベースのソリューションにより、人員を増やすことなく、患者のケアと診断を改善することができます。その結果、医療機関はコストを抑え、患者のウェルビーイングを向上させる他の取り組みに予算を再投資できます。



VoIPおよびクラウドベース電話システム

医療機関は、クラウドやインターネットを介した音声やマルチメディアの伝送へと移行することで、遠隔医療への依存度の高まりや患者エンゲージメントといった現代の医療課題に対応できます。信頼性の高い長距離通信により、ケアの分散化、コスト削減、患者との複雑なコミュニケーションの簡素化が可能になります。



私たちの取り組み



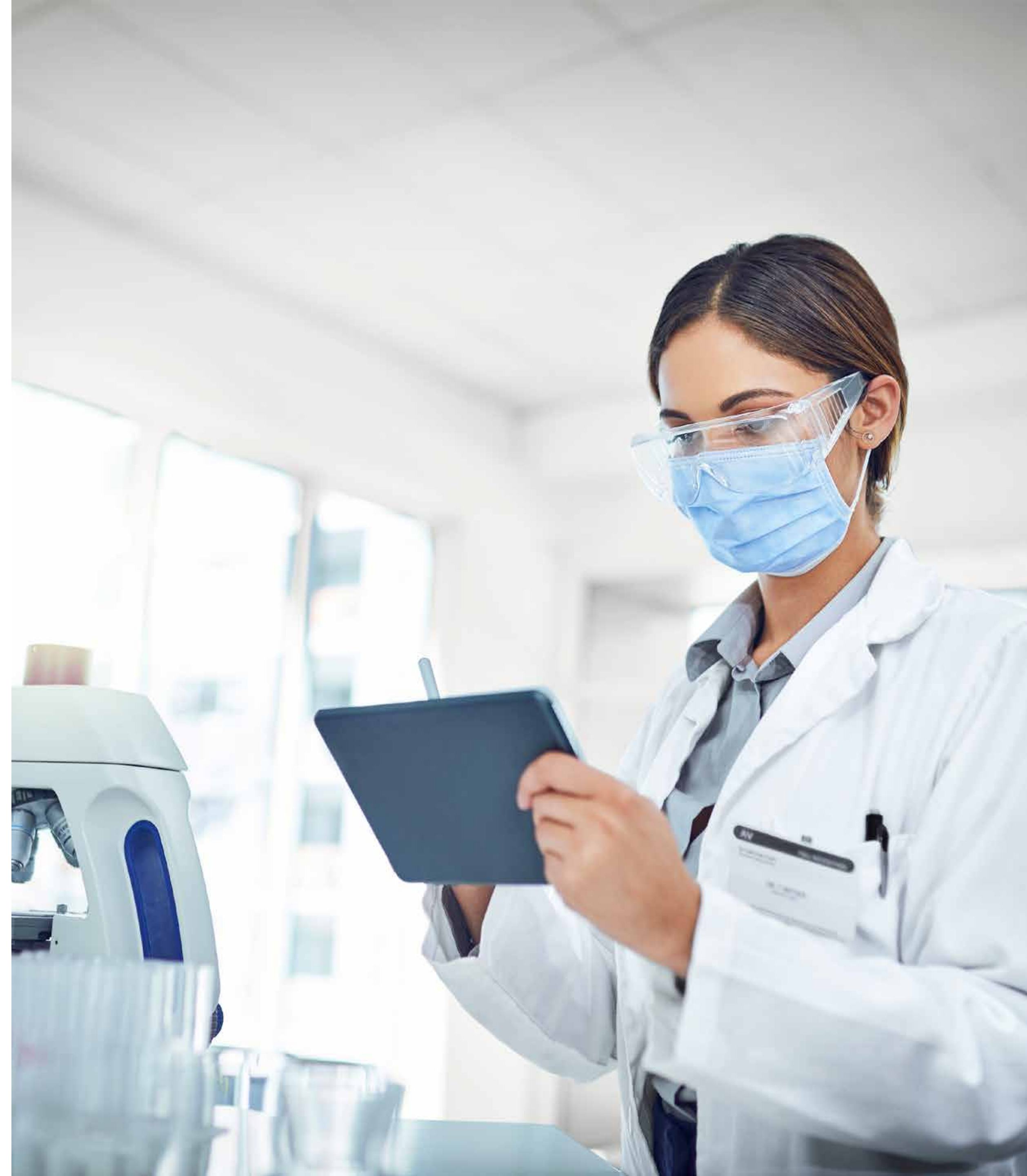
データおよび分析

ヘルスケア産業にはデータが溢れています。課題は、意思決定を強化し、戦略的目標を達成するための有意義な知見に変換することです。ベライゾンのデータ管理、ビジネスインテリジェンス・ダッシュボード、SD-WAN、MECおよび5Gソリューションは、データを保存し、トレンドを特定し、情報が流れ、価値を生み出すエコシステムを構築できます。



管理されたサービス

ヘルスケアは変化の激しい環境にあります。この分野の組織はデジタル化と変革が進んでいるため、カスタムメイドのソリューションはすぐに陳腐化する可能性があります。マネージドサービスプロバイダーは、技術の進歩に対応するための負担を負い、時間をかけて基盤を強化し、患者ケアと業務効率を向上させることができます。



導入事例



Mobile Health

課題

産業保健サービスを提供するこの会社は、新型コロナウイルス感染症の流行時やそれ以降に大規模なオンサイト医療サービスを提供するために、高速で信頼性の高い接続を必要としていました。

ソリューション

ベライゾンは、重要なネットワークと技術基盤のサポートを提供し、Mobile Healthがサービス提供を進化させることを可能にしました。

結果

パンデミックの最中、数千人の医療従事者に対応するため、24時間365日体制で呼吸器装着サイトをわずか36時間で立ち上げることができました。

需要が高まる中、産業保健分野でのイノベーションを可能にし、質の高い患者ケアの提供をサポートしました。

Mobile Healthが新しいサービス提供の軸足を介護施設に置くことで、事業拡大を促進しました。

導入事例

Ambrosia Treatment Centre and the Neuroscience Research Institute

課題

依存症回復、メンタルヘルス治療、研究センターの運営会社が、遠隔地のチームとの接続性を維持するための単一のソリューションを必要としていました。

ソリューション

ベライゾンのコンタクトセンターハブは、医療従事者がいつでもどこでも、どんなデバイスからでも、仮想的に患者対応をできるようにするためのマルチチャネル・ソリューションです。

結果

パンデミック時にチームがリモートで作業できるようにすることで、コンタクトセンターの生産性を向上させました。

音声自動応答 (IVR) ルーティングなどの高度な機能により、患者と適切な医療従事者を結びつけ、顧客が事前に録音された音声と対話できるようにしました。

Salesforceとの統合により、分析および報告書へのアクセスを容易にしました。

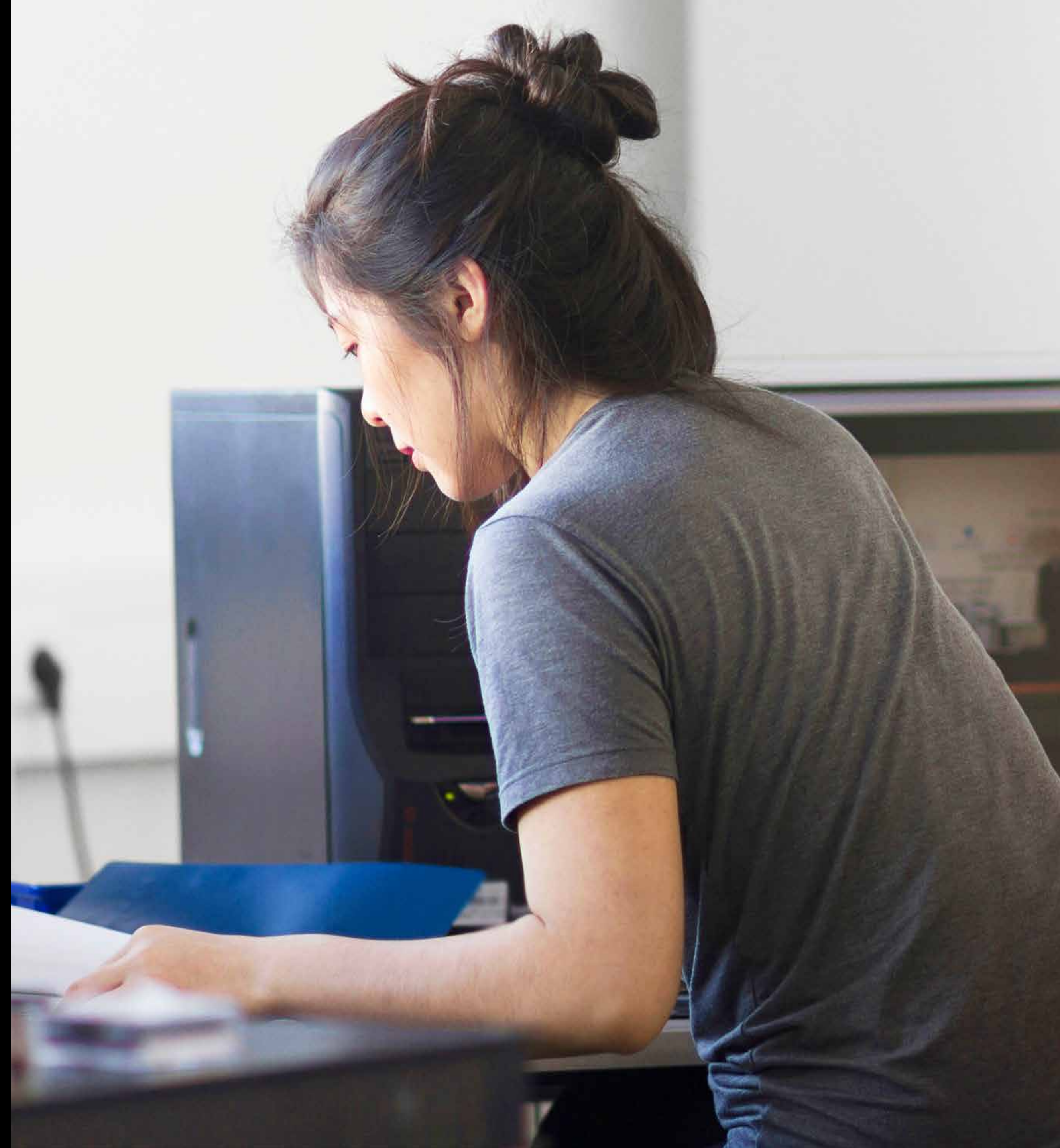
緊急時でも遠隔地のチームとの接続を維持し、ケアの継続性を確保しました。

ローカルエリアでの 存在感

ベライゾンジャパンは、2004年以来、
電気通信事業者のライセンスパートナーとして
活動しています。

国内および大西洋を横断するインフラに支えられ、
様々なマネージドボイス、データ、
IPサービスを提供しています。

ベライゾンは、日本およびその他20の市場
で、software-defined networking (SDN)および
ネットワーク機能の仮想化 (NFV) サービスを提供し、
世界有数のクラウドサービスプロバイダーと
Secure Cloud Interconnectを提供しています。





当社の強み

ベライゾンをお選びいただくことで、ローカルだけでなく、グローバルのリソースもご活用いただけます。当社の総合力により、比類のない接続性とサイバー攻撃の脅威に対する保護をご提供します。

99%

フォーチュン500に
選ばれた企業の99%が
当社の顧客です。

9

世界9か所にセキュリティ
オペレーションセンター
(SOC) を所有

150+

150ヶ国以上

2,400+

毎年2,400名以上の
セキュリティチーム
メンバーへ研修/認証を
実施

34TN

お客様を守り、脅威を
最小限にとどめるため、
毎年34兆のログを処理

世界的に認知されています

- Gartner Magic Quadrant Leader
(Network Services and Managed IoT Connectivity Services)
- Omdia Global IT Security Services Leader
- Unified communications as a service (UCaaS) leader for enterprise

次なるステップ

エグゼクティブ・
ブリーフィングで、
パートナーシップを
次の段階に
引き上げましょう。

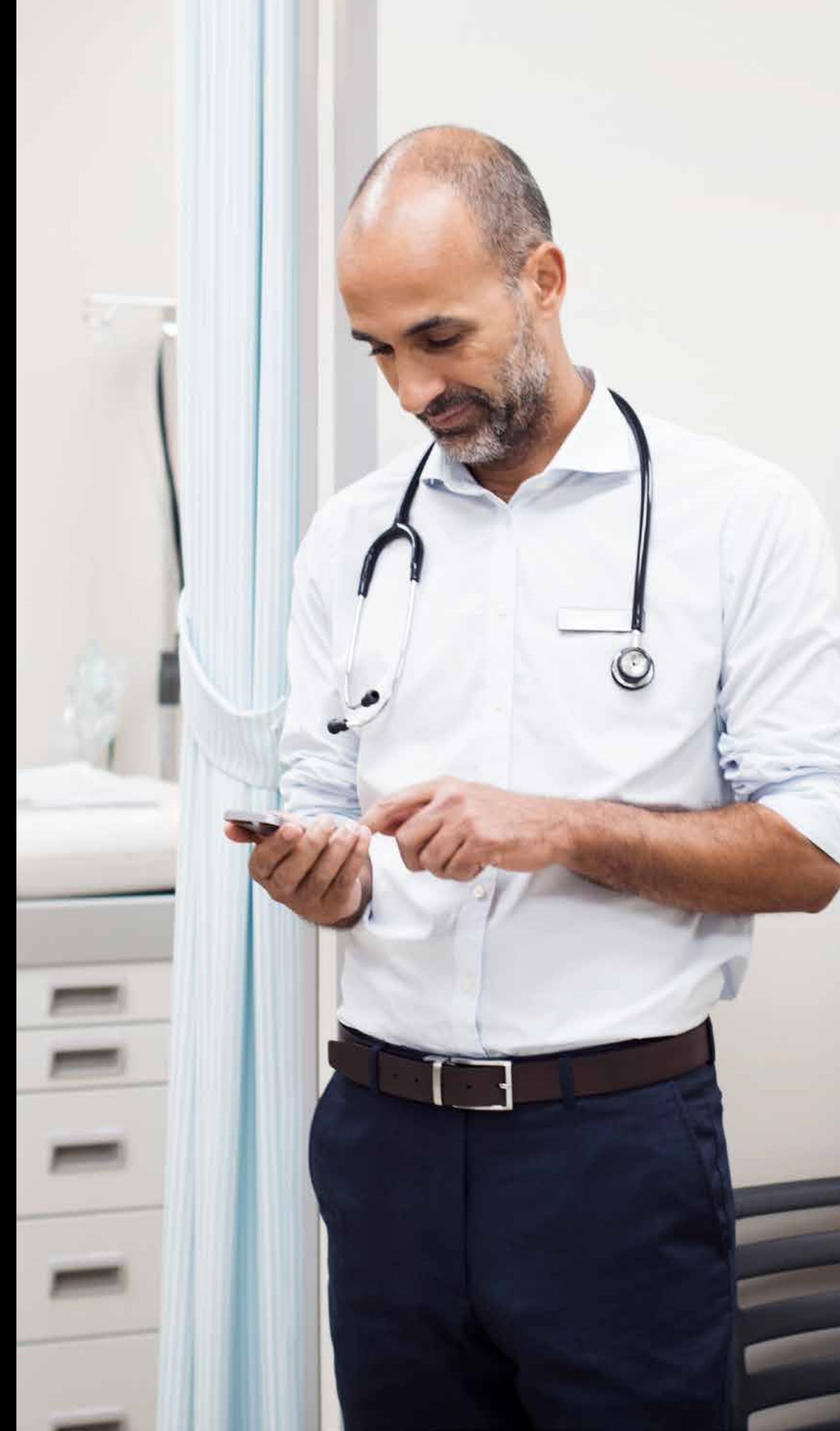
ベライゾンは、スマートな未来に向けて、
お客様がどのような状況に置かれていても、
前進することを支援します。

また、お客様の将来のビジョンを明確にするために、
コネクテッド・フューチャー・ワークショップを
開催することも可能です。試行錯誤を重ねた
フレームワークに従うことで、
私たちは以下のようにお客様をサポートします。

- 業界のリーダーが実践していることを学ぶ
- トランスフォーメーション・アジェンダを模索する
- ブレインストーミングの機会
- ロードマップを作成する
- 次のステップを決定する

お問い合わせ

+81.3.5293.9000
apaccontactus@verizon.com



1. CPHI Annual Report 2021: Golden Age for Discovery, Technology and Growth – CPHI
2. Asia-Pacific Front Line of Healthcare Report 2022 – Bain & Company
3. Future Health Index 2022 – Philips
4. IBM Security X-Force Threat Intelligence Index 2022 Full Report – IBM
5. Where do our active ingredients come from? – progenerika.de
6. Digital adoption in healthcare: Reaction or revolution? – Accenture
7. The future of healthcare in Asia – McKinsey
8. The future of healthcare in Asia – McKinsey
9. 65% of hospitals in APAC are increasing spending on digitalisation, says report – Healthcare IT News
10. IDC finds almost 75% of APAC healthcare providers to increase spending on patient-centric apps – Intelligent CIO APAC
11. 65% of hospitals in APAC are increasing spending on digitalisation, says report – Healthcare IT News
12. IT Spending as a Percentage of Revenue by Industry, Company Size, and Region – Computer Economics (for IT metrics, ratios, benchmarks, and research advisories for IT management)

verizon